

宮城学院女子大学ゴールデンZクラブ
国際ゾンタ加盟認証状伝達式

2015年11月7日（仙台国際ホテル）

先ほど宮城学院の学生たちが、ゾンタ旗を高らかに掲げてりりしく入場してきた姿を見て、思わず胸が熱くなりました。東北大学の里見総長を前にして恐縮ですが、きょうはほんとうに、女子大学の学長でよかったなあと思いました。

さて仙台ゾンタクラブ設立50周年をお慶び申し上げます。本日は、このような記念すべき式典にお招きをいただき、光栄に存じております。また、宮城学院ゴールデンZクラブの国際ゾンタ加盟認証状伝達式を執り行っていただくことも大変ありがたく、篤く御礼を申し上げます。次第です。

ゾンタクラブのホームページを拝見しますと、そのモットーは「誠実と奉仕」にあると謳われています。

「誠実」とは真心をもってひとや物事に対することではありますが、誠実であることは人としての信頼を得るための根本的な要素であると思います。とはいえ、自分では誠実にやっているつもりでも、ひとからは必ずしもそうは見られないということは、しばしばあることだと思えます。

その評価の分かれ目は何かと考えてみますと、「誠実さ」と共に、「奉仕」の精神があるかどうかということではないかと思えます。「奉仕」とは自分の利害を離れて、ひとや社会に尽くすことです。

ということは「誠実と奉仕」が一体となってこそ、人として信頼され、尊敬される存在になるということではないでしょうか。ゾンタクラブが掲げるこの理念は、人として心懸けるべき基本的なことを指し示していると思えます。

そのような崇高な精神を宮城学院の学生たちが共有させていただくために、ゾンタのみなさまのご指導のもと、宮城学院ゴールデンZクラブを学生たちが結成しました。それは、女性の地位向上と社会奉仕のために、さまざまな活動を展開してこられたゾンタクラブに対する尊敬と憧れがもたらしたものであると思います。ゾンタクラブの存在こそが、宮城学院の学生たちに、夢と希望を与えてくださったのであります。

ゾンタクラブには宮城学院の卒業生もたくさん入会しておられますが、学生ゾンタのみなさんは、卒業したあと、自立した輝く女性になって、できるだけ早くゾンタの正会員になれるようがんばってください。期待しています。

宮城学院のゴールデンZのメンバーが、ゾンタの「誠実と奉仕」の理念を継承し、自立した女性としての生き方を学び、そして気品のある女性となるために、今後ともご支援を賜りますよう、改めてお願いを申し上げます。1886年（明治19）に宮城女学校として発足して以来、東北地方の女性教育をリードしてきた宮城学院としましても、ゾンタの掲げる理念を共有しつつ、今後も輝く女性の育成につとめてまいります。

本日は、仙台ゾンタクラブの設立 50 周年をお慶び申し上げますとともに、本学学生たちの国際ゾンタへの認証加盟式の間を設けていただいたことに、宮城学院を代表して心より御礼を申し上げる次第です。

これをもちまして、御礼のことばとさせていただきます。誠にありがとうございました。